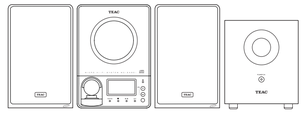
TEAC

MC-DX90i

iPod/iPhone対応マイクロハイファイシステム 取扱説明書



ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

Made for iPod iPhone

NXT is a trademark of New Transducers Ltd.
iPod is a trademark of Apple, Inc., registered in the U.S. and other countries.
"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
Windows Media is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries
Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

0911-MA-1758A

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（裏面に記載）に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏面に記載）に交換をご依頼ください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は20cm以上離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏面に記載）に依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前に音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**くらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない　風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注意	電池に関する注意
指示	**電池を入れるときは、極性（プラス ⊕ とマイナス ⊖ ）の向きに注意し、「⑥リモコンの使い方」に表示されているとおりに正しく入れる** 向きを間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
指示	**長時間使用しないときは電池を取り出しておく** 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もしも液がもれた場合は、電池ケースについた液をふく前に手で触れないでください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏面に記載）に内部の点検をご依頼ください。
費用については、お問い合わせください。

❶ 使用上の注意

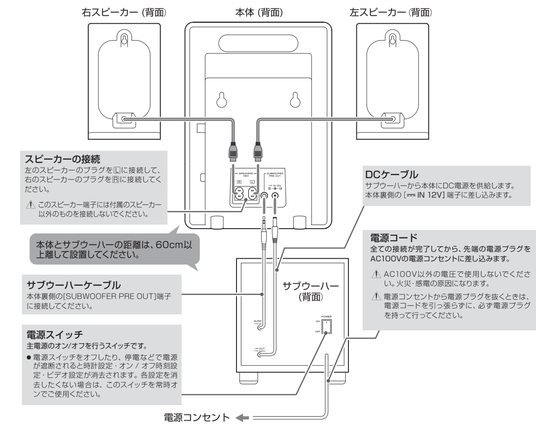
- ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで振動する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にスジ模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

お手入れ

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

❷ 接続方法



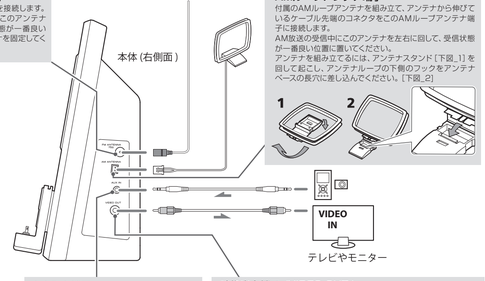
⚠ 電源コードは、全ての接続が終わってから電源コンセントに接続してください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 全ての接続が終わってから、サブウーハー（背面）の電源スイッチをオンにしてください。

❸ 接続方法（続き）

FMアンテナ端子
付属のFMアンテナを接続します。FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置を探し、アンテナを固定してください。

AMループアンテナ端子
付属のAMループアンテナを組み立て、アンテナから伸びているケーブル先端のコネクタをこのAMループアンテナ端子に接続します。
AM放送の受信中にこのアンテナを左右に回して、受信状態が一番良い位置に置いてください。
アンテナを組み立てるには、アンテナスタンド［下図_1］を回して起こし、アンテナループの下側のフックをアンテナベースの長穴に差し込んでください。［下図_2］



音声入力端子（AUX IN）
付属のステレオミニプラグケーブルを使って、この音声入力端子(AUX)と携帯オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子（または音声出力端子）に接続すると、本機のスピーカーで音を聞くことができます。

映像出力端子（VIDEO OUT）
本機のドックに接続されたiPod/iPhoneのビデオ信号を出力します。
市販のRCAピンケーブルを使って、テレビやモニターのコンポジットビデオ入力端子と接続してください。

本機のドックに接続されたiPod/iPhoneのビデオ信号を、この端子で出力するには、本機をiPodモードにしてからiPod/iPhoneを［ビデオ］にしてリモコンの**MP3** ボタンを押してください。
- この端子からビデオ出力すると、iPod/iPhone のディスプレーではビデオ を再生しません。
- iPod/iPhone のビデオ再生中に、上記 **MP3** ボタンの操作をすると、iPod/iPhone はビデオ再生を停止して、一つ前の画面に戻ります。

また、iPodの［ビデオ］[ビデオ設定]-[TV出力]メニューで［オン］または［確認］を選んでください。
(iPod Touch*と iPhoneにはこのメニューはありません)
*iPod Touch第一世代・ソフトウェアバージョン2.2以降
● ［確認］を選んだ場合は、再生の度にビデオ出力するかどうかを選びます。

❹ スピーカーの壁への取り付け

左右のスピーカーを壁に取り付けることができます。

⚠ 壁に取り付ける際の注意

- スピーカーケーブルの長さは約1.8mです。ケーブルが届く範囲でお使いください。
- スピーカーを取り付ける前に、取り付ける壁面がスピーカーの重さ（プラケースを含む）に耐えるのに十分な強度があることを確認してください。
- 壁に取り付けると、スピーカーケーブル2本が壁に露出することになります。
- 取り付け後は、スピーカーやネジにガタつきがないか、定期的に点検してください。
- 取り付け方法がわからない場合や取り付けに不安がある場合は、お近くの工務店などにご依頼ください。

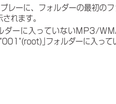
1 スピーカーを壁に取り付ける前に、本体（**⑦接続方法**"を参照）とスピーカーを付属のケーブルで接続します。

2 スピーカーの取り付ける場所を決めます。

3 付属の型紙を壁に当てて、ピンやテープを使って仮留めする。

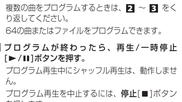
4 穴を開ける位置に鉛などを使って目印を付けてから、型紙を外す。

木製の壁に取り付け
付属のネジを使用して壁面にブラケットを固定します。

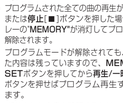


コンクリートまたはレンガ壁への取り付け

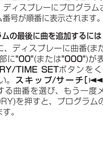
● ドリル等で下穴を開けて、付属のアンカー（赤いプラグ）を壁と同じ高さになる迄で、軽くハンマーなどを使用して埋め込みます。



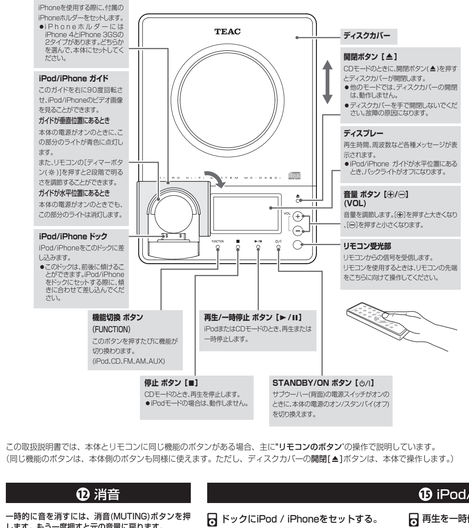
● 付属のネジを使用して埋め込んだアンカーにブラケットを固定します。



5 スピーカーの背面の穴を、ブラケットから出ているのネジの頭にしっかりとはめ込む。



❺ 各部の名称



この取扱説明書では、本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、主に"**リモコンのボタン**"の操作で説明しています。
(同じ機能のボタンは、本体側のボタンも同様に使えます。ただし、ディスクカバーの**開閉【▲】**ボタンは、本体で操作します。)

❻ リモコンの使い方

付属のリモコンで本機を操作することができます。リモコンを操作する場合は、本体の前面のリモコン受光部に向けて使用してください。(**⑤ 各部の名称**"を参照)

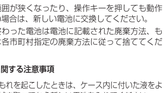
使用上の注意

- リモコンの先端を本体の前面のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントローラルする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

1. リモコン裏面のフタを外します。

2. +の面を外側にして、コイン型リチウム電池（CR2032、3 V）をセットします。



3. フタを閉めます。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

電池に関する注意事項

- 落ちれ起こしたときは、ケース内に付いた液をよくぱき取ってから新しい電池を入れてください。
- 長い間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。上段の注意「電池の取り扱いについて」をよく読んでお使いください。**

❼ MP3/WMA について

- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。
- MP3/WMAファイルの拡張は、ファイル拡張子（**.**mp3）または（**.**wma）で行います。ファイル名には必ず上記の拡張子を付けてください。上記の拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に上記の拡張子をつけてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。
- ファイラタイプされていないディスクは再生できません。MP3またはWMAを記録した機器でファイナライズしておいてください。
- 記録方式はISO9660規格にしてください。
- 500以上のファイルまたは200以上のフォルダーが記録されたディスクは、正常に再生できないことがあります。
- 再生可能オーディオファイルフォーマット
  - MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)ファイル
    - ビットレート 固定ビットレート
    - サンプリング周波数 44.1kHz、48kHz
  - WMAファイル
    - ビットレート 192kbps以下
    - サンプリング周波数 44.1kHz
- 128kbps未満のビットレートでエンコードしたオーディオファイルは、音質が悪くなる場合があります。(128kbpsで通常のオーディオCDと同等です。)
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。上段の注意「電池の取り扱いについて」をよく読んでお使いください。**

❽ コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクを再生できます。

- CD-R、CD-RW、ビデオCDなどは再生できません。
- コピーコントロールCDやDualDiscなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。
  本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。
  特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。
  ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 市販の8cmCD用のアダプターは、使用しないでください。
- ディスクのレーベル面にラベルなどを貼らないでください。
  セロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがした糊あとがあるもの、まだシールなどから糊がはみ出ているものは、使用しないでください。
  その跡まま梱にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に印字するタイプ（プリンタブル）のものは、使用しないでください。
  表面が特殊加工されており、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
  ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- ヒビ割入ってたディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ハート形やひし形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



⚠ 上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。
本機で、8cmディスクは使用しないでください。

CD-R/CD-RWディスクの取り扱い上の注意

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの録音/再生は非対応です)
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手でほさむように持ってください。



- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
  ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 市販の8cmCD用のアダプターは、使用しないでください。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。
- 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。

❾ iPod / iPhoneについて

本機で使用できるiPod / iPhone
以下のiPod / iPhoneを本機に接続できます。

iPod classic
iPod nano (*第2世代以降)
iPod touch (*第1世代以降)
iPhone / iPhone 3G / iPhone 3GS / iPhone 4
*2011年9月現在までの機種になります。

時刻同期機能
iPod / iPhoneを本機のドックに挿入するとiPod / iPhoneの時刻に同期して自動的に調整されます。(この機能は、オン/オフの設定ができます。)

- 本機とiPod / iPhoneの時刻同期を行うには、約30秒程度かかります。
- 工場出荷状態で時刻同期機能は、オンに設定されています。

時刻同期機能のオン/オフ設定

1. 本機の電源がオンの状態でiPodモードで**MEMORY/TIME SET**ボタンを3秒以上、押し続けます。
ディスプレイに"**SYNC ON**"または"**SYNC OFF**"が表示され、設定モードに入ります。

2. 5秒以内に**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押して、"**SYNC ON**"または"**SYNC OFF**"を選択してください。
何も持たずに5秒経過すると設定モードが解除されます。

3. 設定を確定するには、**SELECT**ボタンを押してください。

❿ 時刻設定

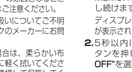
1 サブウーハーの背面パネルにある電源スイッチをオンにし、待機状態(スタンバイ)にする。
● 電源がオンの場合は、STANDBY/ON【⏻/I】ボタンを押して、待機状態にしてください。

2 MEMORY/TIME SETボタンを約3秒押す。
ディスプレーに"**12H**"または"**24H**"が点滅します。("12H"=12時間表示、"24H"=24時間表示) 12H表示と24H表示を切り換える場合は、**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押してください。
● 10秒以上何も操作がない場合、時刻設定モード解除されます。その場合は2.からやり直してください。

3 再度、MEMORY/TIME SETボタンを押す。
下図の"時"表示が点滅します。



4 現在の時間を設定するには、**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押し、"時"を合わせてからMEMORY/TIME SETボタンを押す。
下図の"分"表示が点滅します。



5 現在の分を設定するには、**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押して、"分"を合わせてからMEMORY/TIME SETボタンを押す。
時計がスタートします。
● サブウーハー(背面)の電源スイッチをオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・ビデオ設定は消去されます。
● 時刻同期機能がオンになっているとiPod / iPhoneの時刻に同期して自動的に調整されます。(**⑨ iPod / iPhoneについて**"を参照)

⓫ 基本操作

1 サブウーハーの背面パネルにある電源スイッチをオンする。
サブウーハーのインジケーター(青色)が点灯します。

2 STANDBY/ON【⏻/I】ボタンを押す。
本機が前回の電源オフ時に選択されていたモードで起動します。
● iPod/iPhoneがドックに差し込まれた場合は、自動的に電源がオンになりiPod/iPhoneのプレイリストの再生を始めます。
● iPodモードまたはAUXモードを選択した場合、ディスプレーに時計が常に表示されます。
● CDまたはTUNERを選んだ場合、MEMORY/TIME SETボタンを2秒以上押すと、ディスプレーに時計が数秒間表示されます。

3 機能切換(FUNCTION)ボタンを押して、モードを選ぶ。
押すたびに以下のように切り替わります。

iPod → CD → FM → AM → AUX

● 外部接続された機器を聴くには、"**AUX**"を選んでください。
● チューナーモードでは、**FM**/**AM**ボタンで"FM"と"AM"の切換えができます。

4 モードを選択し、音量【+/−】(VOLUME)ボタンを押して音量を調節する。
音量は最小(0)から最大(40)まで調節できます。
(ディスプレーの数値で音量が確認できます。)

⚠ 突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

⓬ 消音

一時的に音を消すには、消音(MUTING)ボタンを押します。もう一度押すと元の音量に戻ります。
● 消音中はディスプレーに"**MUTING**"が点滅します。
● 消音中に音量を変更したり、機能を切り換えると消音は解除されます。
● 全てのモードで操作できます。

⓭ ディマー

ディマー【☼】(DIMMER) ボタンを押すと、本機のディスプレーとiPod/iPhoneガイドの明るさを2段階と消灯の3段階で調節できます。

押すたびに以下のように切り換わります。

☼ 明るい → ○ 暗い → 消灯

● STANDBY/ON【⏻/I】ボタンを押すと、明るさの設定は解除されます。
● ディマー機能は、スリープタイマーがオンまたはiPod / iPhoneガイドが水平位置の場合を除いて、すべてのモードで切り換えられます。

⓮ 低音または高音の調節

全てのモードで低音/高音を調節することができます。

1 低音調節(BASS)ボタンまたは高音調節(TREBLE)ボタンを押す。
低音のレベルを調節するには**低音調節(BASS)**ボタンを押します。
高音のレベルを調節するには**高音調節(TREBLE)**ボタンを押します。

2 3秒以内に、音量【+/−】(VOLUME)ボタンを押してレベルを調節する。
それぞれ(−4)から(+4)の範囲で調節することができます。

⓯ iPod/iPhoneを聴くには

1 ドックにiPod / iPhoneをセットする。



再生/一時停止【▶/❚❚】ボタンを押すとiPod / iPhoneのプレイリストの再生が始まります。
● iPod / iPhoneをドックにセットした場合、本機の電源が自動的にオンになり、再生を始めます。
● iPhoneを使用する場合、付属のiPhoneホルダー(iPhone 4とiPhone 3GSの2タイプがあります)をセットします。
● 本機のドックにiPod / iPhoneをセットすると、本機の電源がオンの間は常にiPodを充電します。充電が完了すると、充電を停止します。
● ヘッドホンがiPod / iPhoneに差し込まれている場合、本機とヘッドホンの両方から音がでます。
● **停止【■】**ボタンは、CD専用です。iPodモードのとき、動作しません。
● 接続したiPod/ iPhoneからの映像信号は、本機の映像出力端子からテレビやモニター(**⑦ 接続方法**"を参照)に出力することができます。

2 iPodモードを選択する。
機能切換(FUNCTION)ボタンを押して、iPodモードを選択してください。
● iPod / iPhoneがドックにセットされている場合、自動的に再生が始まります。
● iPod / iPhoneがドックにセットされていないときにiPodモードを選ぶと、ディスプレーの"**iPod**"が点滅します。そのときにiPod / iPhoneをドックにセットすると、自動的に再生が始まります。

再生/一時停止【▶/❚❚】ボタンを押すと、再び再生を始めます。
● 一時停止中に**再生/一時停止【▶/❚❚】**ボタンを押すと、再び再生を始めます。

曲をスキップする。
再生中に**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。
希望する曲順になるまで、続けて押してください。選択された曲の始めから再生を始めます。
● 再生中は、【⏮】を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、【⏮】を続けて押してください。

早送り/早戻しする。
再生中に**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

前のメニューに戻る。
メニュー ボタン(MENU)を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。
● iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶ。
プリセット/スクロール【〈/〉】(PRESET/SCROLL)ボタンを使って項目を選び、**選択(SELECT)**ボタンを押します。

iPodモードを選択する。
機能切換(FUNCTION)ボタンを押して、iPodモードを選択してください。

シャッフル再生する。
再生中に**シャッフル[FM MODE](SHUFFLE)**ボタンを押すごとに、以下のようにシャッフルのモードが切り換わります。

曲 → アルバム → オフ

● シャッフルをオンにしたときには、iPod / iPhoneのディスプレーに ⤮ アイコンが表示されます。

リピート再生する。
リピート(REPEAT)ボタンを押すごとに、以下のようにリピートのモードが切り換わります。

1曲リピート → 全曲リピート → オフ

● 「1曲リピート」にしたときには、iPod / iPhoneのディスプレーに 🔂 アイコンが表示されます。
● 「全曲リピート」にしたときには、iPod / iPhoneのディスプレーに 🔁 アイコンが表示されます。

⓰ iPod/iPhoneのビデオを視聴する

iPodモードを選択する。
機能切換(FUNCTION)ボタンを押して、iPodモードを選択してください。

iPod/iPhoneのビデオを再生する。
予め、iPod / iPhoneを[ビデオ]選択画面に切り換えてからドックにセットしてください。
プリセット/スクロール【〈/〉】(PRESET/SCROLL)ボタンを使って項目を選び、**選択(SELECT)**ボタンを押すと、ビデオが再生されます。
● ビデオのリストが表示されているときに**再生/一時停止【▶/❚❚】**ボタンを押すと、前回再生した曲が再生され、ビデオは再生されません。

⓱ CDまたはMP3/WMAのディスクを再生するには

1 機能切換(FUNCTION)ボタンをくり返し押して、**CD**モードを選択する。

2 ディスクカバーの開閉【▲】ボタンを押してカバーを開ける。

3 レーベル(印刷)面を手前にして、中央の軸にディスクをセットする。
「カチッ」と音がするまで中央の軸にはめ込んでください。
● 8cmCDは使用しないでください。
● 同時に複数枚のディスクを入れないでください。
● ディスクがきちんと軸にセットされ、定位置にあるか確認してください。

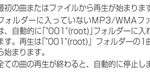
4 ディスクカバーの開閉【▲】ボタンを押してカバーを閉じる。
● ディスクの読み込みには多少時間がかかります。読み込みの間はそのメッセージが表示されます。
● ディスクがセットされていないときは、"**NO DISC**"が表示されます。

例：オーディオCD

例：MP3/WMA ディスク



5 再生/一時停止【▶/❚❚】ボタンを押して、再生を開始する。
例：再生中のディスプレー表示



最初の曲またはファイルから再生が始まります。
● フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に"001"(root)」フォルダーに入れられます。再生は"001"(root)」フォルダーの1曲目から始まります。
● 全ての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生を一時停止する。
再生中に、**再生/一時停止【▶/❚❚】**ボタンを押すと再生が一時停止します。
● 一時停止中に**再生/一時停止【▶/❚❚】**ボタンを押すと、再び再生を始めます。

再生を停止する。
停止【■】ボタンを押すと再生が停止します。

ファイルをスキップする。
再生中に**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。
希望する曲順になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

停止中は、【⏮】または【⏭】ボタンを押して、**再生/一時停止【▶/❚❚】**ボタンを押すと再生が始まります。
● 再生中は、【⏮】を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより後ろの曲を再生したいときは、続けて【⏮】押してください。

早送り/早戻しする。
再生中に**スキップ/サーチ【⏮/⏭】**ボタンを押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

音飛び防止機能(ESP機能)
本機には、振動による音飛びを防止するためのES

23 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご連絡ください。

一 般

電源が入らない

➡ サブウーハーのインジケーター(青色)が点灯していない場合、サブウーハーの背面パネルにある電源スイッチをオンにする。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

➡ STANDBY/ON[⏻/I]ボタンを押して、本体をオンにしてください。

音が出ない

➡ **機能切換(FUNCTION)**ボタンで再生モードを選択してください。

➡ スピーカーの接続を確認してください。

➡ 音量ボタンを押して音量を調節してください。(この操作をしても音が出ない場合、他の操作をする前に音量を"10"以内に戻してください。他の操作で、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。)

➡ ディスプレーにMUTINGの表示が点滅している場合は、ミュートボタン(MUTING)を押してミュートを解除してください。

雑音がする

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

リモコンで操作できない

➡ STANDBY/ON[⏻/I]ボタンを押して、本体をオンにしてください。

➡ リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。

➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

➡ 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。

CDプレーヤー

再生できない

➡ レーベル面を手前にして、ディスクの穴をボールにしっかりとはめ込んでください。

➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音済みのディスクを入れてください。

➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは、再生できません。また、ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

音飛びがする

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。

➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。

ディスクカバーが開かない

➡ **機能切換(FUNCTION)**ボタンを押して、CDモードを選んでから、開閉ボタンを押してください。

iPod/iPhoneの再生

iPod/iPhoneをドックにセットできない

➡ 本機のドックコネクターやiPod/iPhoneのコネクタ部分からほこりやゴミを取り除いてください。

➡ iPhoneをご使用の場合、お使いのiPhoneに合ったiPhoneホルダーをセットしてください。

再生できない

➡ iPod/iPhoneを一度ドックコネクターから外し、数秒経ってからセットし直してみてください。

➡ 最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い

➡ 受信可能な放送局を選局してください。

➡ FMの場合は、アンテナの位置を変えてみてください。

➡ AMの場合は、アンテナ本体の向きや位置を変えてみてください。

FMで、ステレオ放送なのにモノラルになる!

➡ FMモードボタン(FM MODE)を押して、ステレオ受信に切り換えてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、以下の手順で工場出荷時の初期設定状態に戻すことにより、正常な状態に戻ることがあります。

1 本体が待機状態になっている場合は、STANDBY/ON[⏻/I]ボタンを押してオンにする。

2 機能切換(FUNCTION)ボタンをくり返し押して、AUXモードを選ぶ。

- ディスプレーに"AUX"を表示します。

3 本体の停止[■]ボタンを5秒以上押す。

すべての設定内容が消去され、工場出荷時の初期設定に戻ります。

24 仕 様

アンプ部

定格出力 ..... 合計 10W (5W + 5W)
サブウーハー出力 ..... 15 W
入力感度 ..... 300 mV
周波数特性 ..... 20 ～ 20,000 Hz

CDプレーヤー部

周波数特性 ..... 20 ～ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N 比 ..... 55 dB
ワウ・フラッター ..... 測定限界値以下

FMチューナー部

受信周波数 (FM) ..... 76 ～ 90 MHz
感度 (S/N 30dB) ..... 25 dBuV/m

AMチューナー部

受信周波数 (AM) ..... 522 ～ 1,629 kHz
感度 (S/N 20dB)) ..... 54 dBuV/m

スピーカー部

ユニット ..... フルレンジフラットタイプ
インピーダンス ..... 8 Ω
インピーダンス (サブウーハー) ..... 6 Ω

一般

電源 ..... 100V, 50-60 Hz
消費電力 ..... 80 W
(スタンバイ時 1 W 以下)

外形寸法 (幅、高さ、奥行)

本体 ..... 160 x 226 x 116.5 mm
左右スピーカー ..... 142 x 226 x 70 mm
サブウーハー ..... 170 x 200 x 240 mm

質量

本体 ..... 1.0 kg
左右スピーカー ..... 各 0.6 kg
サブウーハー ..... 4.0 kg

付属品

リモコン (RC-1223A) ..... x 1
リモコン用コイン型リチウム電池 (CR2032) ..... x 1
ステレオミニプラグケーブル x 1 ..... x 1
FM アンテナ (リードタイプ) ..... x 1
AM ループアンテナ ..... x 1
iPhone ホルダー ..... x 2
壁掛け用ブラケット ..... x 2
ネジ ..... (M4) x 4
壁掛け用アンカー ..... x 4
型紙 ..... x 2
取扱説明書 (保証書付き) ..... x 1

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

保証書

品名および型名	マイクロHi-Fiシステム MC-DX90i	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センター(下記に記載)またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話 ( )	

販売店	所在地・名称(印)
	電話 ( )

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室

050IP電話 0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

お問合せ受付時間
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30～12:00/13:00～17:00

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235
FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター

050IP電話 0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

お問合せ受付時間
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30～17:00

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033
FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。